（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	よつば			
○保護者評価実施期間	2024年　11月　1日		～	2024年　11月　30日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	22	（回答者数）	17
○従業者評価実施期間	2024年　11月　1日		～	2024年　11月　30日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年　12月　15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	夏祭り・クリスマス会やママ会の企画を通して、保護者様や兄弟も一緒に参加することで、保護者様同士の交流の場を設けることができている	ママ会の内容を工夫し、美容師・エステシャン・ネイル・生花・お灸・お茶など日頃頑張っているお母さんへの癒しの場を設け、悩みや相談事をしやすい環境を提供している。	・日程の調整やお知らせを早めに行い参加しやすいようにする。 ・パパ会の企画も行っていく。
2	職員研修の充実 外部講師を招いての、LGBTの研修や虐待、身体拘束、マナーなど研修や外部機関と繋がる場に積極的に参加を促している。	研修受ける日程を取り、学ぶ時間を職員同士協力して取り組んでいる。	今後も様々な研修を通し、職員のスキルアップすることで支援に活かしていきます。
3	活動スペースの工夫 プレイルームのおもちゃの配置など活動に合わせて使い方を工夫している。 イベントになると室内の装飾を一気にテーマに沿った装飾に変更し世界観を伝えている。	イベントの時には、普段の様子から一気に変わることで、子ども達も保護者様も楽しみにしてくれているので、当日まで全貌は明かさないように注視している。	子どもたちに危険がないか十分に安全管理を日頃から徹底する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	朝礼や終礼や会議等は行っているが、振り返りなど時間が確保できない場合もある。	日々の報連相は、朝礼、終礼を通してできているが、イベント後は日常に戻っていくので、後手に回ってしまっている。（片付け含む）	役割を振って、イベント終了の振り返り、片付けまでしっかりと終わらせる。
2	避難訓練を行っていても保護者様に知られていない結果が出ている	訓練を行う曜日の保護者様には、記録をお渡ししているので周知できていたが、訓練日以外の保護者様にはやっているのか？の疑問を持たせてしまった。	避難訓練実施の結果を、連絡ツールまたは、HPで周知するようにしていく。
3	幼稚園や保育園等、地域の子どもとの交流がない	現時点では、交流の機会を設けていません。 交流して欲しいお声と、今のままで良いというお声があるので検討していく。	地域のお祭りへの参加や幼稚園、保育園の子ども達との交流の機会をハロウィンなど行事の際に行って行けたらと思います。

（別紙４）

公表　保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	よつば

公表日　2024 年　12 月　15 日

利用児童数　2024 年　11 月　30 日　　回収数　17

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2			未就学児のスペースは体も小さくて人数が多くても余裕があるが、小学生ともなると狭そうに感じた。	一つ一つの部屋は広くないですが、部屋を分けて活動を分けて工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1		1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1	1		・地下階段が急すぎる気がする。 小さい子には少し危ない。 ・地下に行く階段が急だなと感じる。	子ども1人では階段は降りないよに徹底しています。必ず大人が付き添い、上下から見守っています。入り口には鍵をつけて子どもが開けれないようになっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16			1		不安が無いように丁寧な説明を行っていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	17					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1		1		不安が無いように丁寧な説明を行っていきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1		2		不安が無いように丁寧な説明を行っていきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1		1	先生にあまり慣れていないのでは？と感じています。自分が出せていないので、支援はできないと思いました。（一部）	通所し始めたお子様とは、信頼関係を築いてからの支援になると考えています。まずは仲良くなることを目指しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15			2		不安が無いように丁寧な説明を行っていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9		1	7	今は必要ないのでこのままで良い。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1		1	項目がたくさんあり、理解しきれない部分もあります。	説明時には項目ごとに丁寧に説明していきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15			2	まだ通ったばかりなのでわかりません。	説明時には項目ごとに丁寧に説明していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1		4	まだ半年なのでわかりません。 まだ通ったばかりなのでわかりません。	不安が無いように丁寧な説明を行っていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	1		1	まだ通ったばかりなのでわかりません。	不安が無いように丁寧な説明を行っていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15			2	まだ通ったばかりなのでわかりません。	不安が無いように丁寧な説明を行っていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16			1	まだ通ったばかりなのでわかりません。	不安が無いように丁寧な説明を行っていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13			4	まだ通ったばかりなのでわかりません。	夏祭りやクリスマス会など保護者と兄弟参加ができるイベントや保護者会もあります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16			1		保護者様からのご相談には随時応じています。面談の際にも体制が整っていることを周知徹底していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1				送迎時、連絡ノート、電話、連絡ツールを使い情報共有しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	1		1		HP、ブログ更新、季刊誌を通して行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1		3		不安が無いように丁寧な説明を行っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			6		定期的に行っています。通所の曜日に行われないこともある事を丁寧に説明していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	14	1		2		不安が無いように丁寧な説明を行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1		3		不安が無いように丁寧な説明を行っていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	16		1		不安が強い子なので、まだ慣れていないのでは。	お子様と信頼関係を築いていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16		1		不安が強い子なので、まだ慣れていないのでは。	お子様が楽しく通えるように活動を考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1				保護者様とも信頼関係を築いていきます。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	よつば

公表日　2024　年 12 月　15　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・活動内容によってスペースの使い方を工夫したり時間で区切っている。 ・活動によっては部屋を分けたり時間交代し活動を行えている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		体調不良などのイレギュラーもあるが、放デ職員との連携を図っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	・地下への階段は少し急いで、小さい子は危険さもある。 ・視覚的にも分かるようにイラスト等を使い環境を整えている。 ・視覚指示、絵カードや写真を使用して説明、手すりや注意喚起ポスターの配慮。	地下の階段入り口には鍵をつけているので、子どもが勝手に開けれないように配慮しています。子どもが階段を降りる時には、必ず大人が付き前と後ろからフォローしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・毎日消毒や清掃を行っている。 ・毎年使用しているフィルター等のチェック、交換が必要。	フィルター交換、定期的なエアコン清掃を実施し環境整備を行っていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	4			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	2	・行事等では、目標設定の確認等、進捗を全体で意識・把握すると良いと思う。 ・振り返りの時間が足りていない。	朝礼、終礼、会議等での振り返りの時間を取るように改善します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		・関係機関による外部評価を受け業務改善に繋げている。 （おがる、むぎのこ、えりく）	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	4		HP、ブログ、予定カレンダー、季刊誌	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・支援計画作成時、グループで話し合いその話し合いをもとに作成している。 ・児発管と保育士を中心にミーティング。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		月１回チームミーティング、面談前のケース会議、個別ノートでの共有	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		様々なツールを使いアセスメントを取っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		特に必要な支援を２つに絞り、共通認識を持ちながら支援している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		土曜日にはプチイベントや野外活動を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・チームで打ち合わせをする他、活動票等で活動内容や役割を確認することもできている。 ・LINE WORKUSで１日の活動内容、担当職員が記載された写真を提示している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	4		・気づいた点があれば共有できている。 ・終了後ではない事もあるが、翌日情報共有ができている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		保護者、園と支援に対する情報共有を行えている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	4			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	・現段階では実施できていない。 ・他の子どもと活動する機会はないが保育所や幼稚園等へ行事への参加の促しを行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	4			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		各家庭にノートを渡し悩みや情報共有、助言が行えている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		イベントでは保護者同士の交流がある。また普段の活動の中でも兄弟での交流が行えている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		季節ごとにVIVIDを配布したりブログを更新し発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人携帯に子どもの写真や動画を所持しない為会社用携帯を使用している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		ニーズに合わせた配慮を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		曖昧な部分もあると思う為、再確認も含め共通認識を深めたい。	職員全員が理解につながるように周知や研修を徹底していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		職員全員が理解につながるように訓練実施や研修を徹底していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	1		服薬や予防接種の確認はしています。 てんかんの児童がいた場合には対応を周知します。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットへの今後の対応を話し合うことができている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		外部の方による研修を受けている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	よつば			
○保護者評価実施期間	2024年　11月　1日	～	2024年　11月　30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	28	（回答者数）	20
○従業者評価実施期間	2024年　11月　1日	～	2024年　11月　30日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年　12月　15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	夏祭り・クリスマス会やママ会の企画を通して、保護者様や兄弟も一緒に参加することで、保護者様同士の交流の場を設けることができている	ママ会の内容を工夫し、美容師・エステシャン・ネイル・生花・お灸・お茶など日頃頑張っているお母さんへの癒しの場を設け、悩みや相談事をしやすい環境を提供している。	・日程の調整やお知らせを早めに行い参加しやすいようにする。 ・パパ会の企画も行っていく。
2	職員研修の充実 外部講師を招いての、LGBTの研修や虐待、身体拘束、マナーなど研修や外部機関と繋がる場に積極的に参加を促している。	研修受ける日程を取り、学ぶ時間を職員同士協力して取り組んでいる。	今後も様々な研修を通し、職員のスキルアップすることで支援に活かしていきます。
3	活動スペースの工夫 本の部屋、工房、ジム、喫茶コーナー、女の子の部屋など活動に合わせて使い方を工夫している。 イベントになると室内の装飾を一気にテーマに沿った装飾に変更し世界観を伝えている。	イベントの時には、普段の様子から一気に変わることで、子ども達も保護者様も楽しみにしてくれているので、当日まで全貌は明かさないように注視している。	子どもたちがリラックスできる部屋として、子どもたちも一緒にどのような部屋にしていくか考えていく機会を作っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	朝礼や終礼や会議等は行っているが、振り返りなど時間が確保できない場合もある。	日々の報連相は、朝礼、終礼を通してできているが、イベント後は日常に戻っていくので、後手に回ってしまっている。（片付け含む）	役割を振って、イベント終了の振り返り、片付けまでしっかりと終わらせる。
2	避難訓練を行っていても保護者様に知られていない結果が出ている	訓練を行う曜日の保護者様には、記録をお渡ししているので周知できていたが、訓練日以外の保護者様にはやっているのか？の疑問を持たせてしまった。	避難訓練実施の結果を、連絡ツールまたは、HPで周知するようにしていく。
3	児童館や地域の子どもとの交流がない	現時点では、交流の機会を設けていません。 交流して欲しいお声と、今のままで良いというお声があるので検討していく。	地域のお祭りへの参加や児童館子ども達との交流の機会をハロウィンなど行事の際に行って行けたらと思います。

（別紙４）

公表　保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名	よつば

公表日 年月日　2024 年　12 月　15 日

利用児童数 年月日　2024 年　11 月　30 日　　回収数　20

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	2				・職員の配置は適切な人数を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	2	1			・地下への階段には不安がある声が聞かれます。子どもが開けれないように地下への扉には鍵をつけています。 降りる時には大人が付き、危険が無いように配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	20					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	2	12	特に必要としていないので、このままで良い。	地域のお祭りや近隣の学校の児童館との交流も今後検討していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	2				・送迎時や必要な時には電話、連絡ツールを使い共通理解をしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19			1		・保護者様への助言等必要に応じて行っています。面談の際にも体制が整っていることの周知徹底をしていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1				・保護者様との信頼関係を築き共通理解のもと支援に努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	2		2	いつも本格的なイベントで子どもも、もちろん親も楽しく行事が楽しみです。	・行事への保護者様の参加の機会があることや、保護者会があることの周知徹底をしていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1		1		・保護者様からのご相談には随時応じています。面談の際にも体制が整っていることの周知徹底をしていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			2		マニュアル・訓練実施など保護者の方への共有を訓練した日の保護者様だけではなく全体へ周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16			4		定期的に行っています。通所の曜日に訓練が行われない場合があることを説明しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	20					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	2			波がある	・来所時にはお子様の様子に気にかけ寄り添い支援していきます。 ・また楽しみに来所できるよう活動を考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20				毎回楽しみに通所しています。 今後ともよろしくお願いいたします。	

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	よつば

公表日　2024　年　12　月　15　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・1Fと地下を使い十分なスペースを確保している。 ・活動内でブース分けて行ったりとのびのびと過ごせていると思う。運動面が少し手狭かもしれない。	・部屋の使い方が工夫されている。 ・活動に応じた装飾など毎回子どもたちも楽しめている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4		適切に配置されている	適切な人数配置をしている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	・活動内容や１日の流れがわかりやすくなっているが行動を促す指示ポスターなどよりわかりやすく構造化していきたい。 ・地下への階段が危ない。手すり等が欲しいです。	地下の階段入り口には鍵をつけているので、子どもが勝手に開けれないように配慮しています。子どもが階段を降りる時には、必ず大人が付きフォローしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・毎日清掃、消毒を行っている。 ・加湿器等のフィルターもきれいにする回数が増えてきている。	・フィルター清掃日を決めて必ず行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・ジム、工房、カフェスペース、ホール、本の部屋、女の子部屋など自分たちで過ごす場所を選択できる。 ・本の部屋や地下にて気持ちの切り替え等ができている。	・気持ちの切り替えが必要な時に使用できる部屋の用意がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	・全体会議では、児発職員も含め社員全員で行っている。 ・振り返りの時間が少ない。 ・イベント等に関しては細かく行えてきている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		責任者が内容をまとめてスタッフに周知している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		責任者が定期的にスタッフの面談を実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	定期的に関係機関から外部評価を受けている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・必要に応じて外部講師を招いたりしながら実施されている。 ・おがる、えりく	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		月案や日案が作成されておりスタッフが確認できるようになっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		日々の記録や子どもとの関わり保護者とのモニタリング面談を元に作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		計画作成にあたり事前にグループミーティングを行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	4		・保護者に渡す前に職員間に共有されている。 ・共有する時間が少ない為、もう少し欲しいです。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		独自のツールを用いてアセスメントを取っている。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		計画を見る人（保護者・スタッフ）がわかりやすいように具体的に書かれている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		グループミーティング等で協議し考えている。 ・全部ではないができている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		様々な体験ができるように工夫して決めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別に合わせた内容で作成し支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・職員間で情報共有し合ったりLINEWROKSなどのツールで確認している。 ・WROKS等も使用しいつでも確認できるようになっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	2	2	・当日または翌日に行っている。 ・共有できない日がある。 ・その日に必ず行えているわけではないが気づいた点などは付箋等利用したり記録に残している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		１人１人の日々の記録を作成し保護者にも共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		６ヶ月に１度または必要に応じて見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4		①～④までを含めた総合的な支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		・「選択日和」などを通して行っている。 ・選択日和やDBCで自分たちで考え行えてきている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		必要に応じて適任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要に応じて連携が行える体制になっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1	・適宜確認しながら行っている。 ・完璧にはできていない為、今後気をつけていかないといけない。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	・適宜情報共有を行い相互理解に努めている。 ・情報共有できているかわからない。	必要に応じて情報共有しているが、理解につながるように共有していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2	該当なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	2		必要に応じて責任者が連携をとり実施している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3	・現在は行われていない。 ・増やしていきたい。 ・児童とのふれあいはないが学生とバスケットを通し交流したことがある。	・地域のお祭りに参加したり、近くの学校の児童館とも今後交流の機会が作れるように検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		必要に応じて責任者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		日々の記録、送迎時、連絡ツールなどを用いて行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		研修、行事、ママ会などを定期的に行っている。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1	・契約時に行われている。 ・利用者に対して把握できていない部分がある。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		計画書作成前には必ず面談を実施している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	4		必ず確認してもらい同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		相談があった場合にはその都度対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4		・行事（夏祭り、クリスマス会など）親子リトミックなど、保護者や兄弟が参加できる機会を設けている。 ・保護者会等があれば参加したい。 ・生花体験をする等保護者の興味をひけるような機会を作り交流できるようにしている。（不定期）	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		必要に応じて適任者が対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		・ブログ、インスタグラム、VIVID,などで楽しく情報発信している。 ・定期的にブログ更新している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		１人１人に確認しながら適切に行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		個別に合わせたツールを用いるなどして行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2	・夏祭りの際には市議会議員の方も招待し参加していただいている。 ・最近のイベントに来ていただいたことがある。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	各マニュアルが作成されており避難訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	定期的に避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		保護者に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・保護者に確認し、提供する物には十分配慮を行っている。 ・今のところ対象者はいないが母に対応を聞いたりしている。	・アレルギーに対し十分な配慮をしてイベントでの食事提供や手作りおやつを行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		送迎車の安全マニュアルなどが作成されている。	・安全装置の設置済
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4		必要に応じて周知されている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		事例があった場合にはすぐに共有し報告書の作成を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		適切な対応を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		スタッフ間で共通認識を持ち計画書に記載されている。	